

# ワクワク通信



私たちは、エネルギーと生活関連事業を通じて  
地域の顧客満足 No.1 企業を目指しています。

## 社長エッセイ

### 『半世紀』

9月の初めに念願の東京オリンピックが49年ぶりで決まりました。お・も・て・な・しが流行語になるなど皆様にもまだ記憶に新しい事と存じます。汚染水等の問題も有るとは思いますが、久しぶりの明るいニュースでこれを契機に経済も上向いてくれる事を願っております。それと今回の招致成功は何と言ってもオール日本で臨んだこと、それぞれが役割をキッチリ果たせた結果だと思えます。

思い起こせば前回の東京オリンピック時は私が8歳の頃(石岡小3年)学校全員で中町通りに繰り出して、日の丸の旗を振りながら聖火ランナーを迎えた記憶がございます。あれから50年(きみまる風)の歳月が経ちますが、何か似た場面を想像してしまいます。



「半世紀」。言葉ではとても短いのですが、その中にはとても長く凝縮した時間が詰まっているのだとつくづく考えさせられました。私も今年57歳。自分の中での半世紀は何を残せたのでしょうか？答えは今後の課題です。

昭和39年頃と現在を比較すると、当時世界一の電波塔として東京タワーが威容を放ち現在はスカイツリーに役割移譲。同じく前回オリンピック開催に照準を合わせ完成した東海道新幹線と現在のリニア開通計画(東京〜名古屋)。そして首都高速建設と今回は外側の環状線の建設促進。インフラばかりで無く人々の世界に対する考え方も大きく変わった様な気が致します。やはり半世紀で歴史は繰り返し書き換えられるのか？今回はどう変わるのか、良い方向に期待するものです。また他に目をやると別の分野でも今年には大きな変化が有る様です。例えばプロ野球でも楽天田中投手が鉄人稲尾の連勝記録を約半世紀ぶりに塗り替えました。更にヤクルトのバレンティンが王貞治の持つ年間5号本塁打の記録を塗り替えたのもまだ記憶に新しいところ。まだまだ他にもあるでしょう。

## 石岡の栗

### ふるさと紀行



三越へ出荷する網入り栗

町の周辺部に広がる平地林は、農家の大切な農業資源。雑木林からは、燃料となる薪と堆肥の材料となる落ち葉、さらにはキノコや山菜など様々な森の恵みが生まれました。

関東特有の平地リンを代表する樹木として落葉果樹の栗



茨城栗を普及させた兵藤直彦氏

がある。

日本一の栗の産地として茨城県はその名を轟かせてきたが、石岡地方はその主産地として長い歴史を誇っている。

「茨城栗」の始まりは、千代田町志筑の兵藤直彦の「高接ぎ法」に始まる。東京大学農学部を出た兵藤は、大正8年に10haの栗の大規模農家をスタートさせた。

ところが、栗園を始めた2、3年後には、胴枯れ病でその8割が枯れてしまった。原因を調べると厳冬の凍傷であることが判明した。寒さで幹が割れ、皮がはがれたところに病原菌がつくという発見から、兵藤は凍傷に強い山栗を台木とする高接ぎ法を考案した。

。この高接ぎ法によって、栗栽培は安定し、石岡地方から茨城県へ広く普及していく。

兵藤は、日本栗研究の草分けである県農会の幹事・八木岡新兵衛などとともに、研究・普及活動を重ねた。昭和4年、彼を中心に茨城栗出荷組合が設立され、石岡駅近くに栗の出荷場が開設する。そこには、石岡・出島・千代田・八郷など3町19カ村の栗が集まった。昭和6年には、さらに市場を拡大しアメリカへの輸出が行われた。

## イバセキのお仕事

### 「自宅の井戸に 手漕ぎポンプはいかが？」



のない手漕ぎ式の井戸ポンプがあれば、万が一電気が使用できない状況になっても水を汲み上げることができます。

災害時に一番必要なものは「水」です。阪神大震災や東日本大震災の際には「井戸」が活躍し、震災後に注目されました。被災地の施工業者では、震災前は週1回程度だった家庭用井戸の改修依頼が震災後は約3倍になっていったそうです。また、深さ5〜8メートルほど地中を掘る掘削の依頼も増えていたそうです。自宅の建て替え時は「井戸を埋めて」という依頼が目立ったが、「震災で水道がダメになった時に井戸水を使えるようにしたい」と考えるお客さんが多い」といっています。

皆様も非常時に備えて、新たに井戸の設置や使用していない井戸の整備、もしくは、手漕ぎ式の井戸ポンプの併設を考えてみてもいいかもしれません!!

茨石商事では、9月中旬に石岡市内のSさん宅に井戸の手漕ぎポンプを設置しました。Sさん宅では、井戸水を常用で使っており、通常時は、電気ポンプを使用して井戸から水を汲み上げて使用しております。

しかし、電気が止まってしまった場合、水を汲み上げることができない為、Sさん宅の水道は使用することができません。以前の震災時に、井戸があるのに使用できないという状況を体験しており、その経験を通じて、手漕ぎポンプを設置することになったそうです。動力源が必要



## いばせきエンタメ

### 知ってますか？

### 「ねこ新聞」



ねこ新聞表紙より

2000年代後半の『ネコ鍋』というネコが詰まった土鍋がインターネットから始まり、猫耳フアッションや猫グッズ、猫カフェなど、ここ10年くらいは息の長い猫ブームとなっております。しかし、ブームに左右されることなく、猫をメインにとりあげた、知る人ぞ知る「ねこ新聞」という新聞が存在するのをご存知でしょうか？

「ねこ新聞」とは、『富国強兵転じて、ふこくきょうねこ』をコンセプトに発行されています。「富国強猫」と言われてもイメージできないかもしれませんが、「猫がゆったりと眠りながら、暮らせる国は、平和な心の富国」という精神を軸に、殺伐とした現代にこそ、生きとし生けるすべてのものへの愛情と慈悲心という人間として当然のことを、当たり前に行える世の中

## イベント情報

### 整体教室の開催

「ご好評の整体教室ですが、今月も整体教室を行う予定です。左記、開催の日程になります。

### ●第三回 整体教室●

〔日時〕

10月23日 水曜日

10時〜12時

### 〈講義内容〉

体の歪みについて  
家庭でできるエクササイズ  
など

受講料金 1000円

※初回体験につき無料になりますので、お気軽にご参加くださいませ。

### ●編集後記●

ワクワク通信にて、知りたいことや載せてほしいことがありましたら、全力でお答えします。また、感想やご意見など頂けたら嬉しいです。お待ちしております。是非お気軽にお問い合わせください!

